

【資料1】センター退所生（児童生徒）編入統計

佐久間 治夫

50期（1996.年6月から9月）から60期（1999年10月から2000年2月）までの小中学生クラス学習者11期109人のうち、中国で既に高校生だった者2人を除いた107人を統計対象とした。ただし、退所後連絡がとれず編入学年不明の者2人、夜間中学に進んだ者1人の計3人はの学歴編入差グラフからは除外した。

期別人数

期	50	51	52	53	54	55
人数	11	16	6	5	16	10
備考	96.06~	96.10~	97.02~	97.06~	97.10~	98.02~
編入時期	10月	2月	6月	10月	2月	6月
	56	57	58	59	60	計
	8	11	12	8	4	107人
	98.06~	98.10~	99.02~	99.06~	99.10~	
	10月	2月	6月	10月	2月	

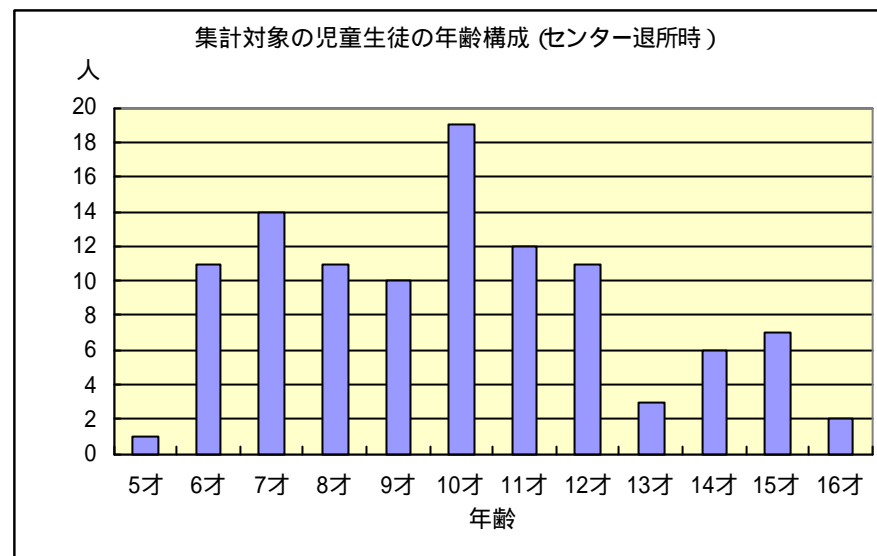
センター退所時の満年齢別人数

退所時年齢	合計人数
5	1
6	11
7	14
8	11
9	10
10	19
11	12
12	11
13	3
14	6
15	7
16	2
合計	107

日本での編入学年

編入学年	合計人数
幼保	2
小1新入	15
小1	5
小2	14
小3	13
小4	13
小5	17
小6	8
中1	6
中2	5
中3	6
不明	2
夜間中学	1
合計	107

参考：退所時年齢グラフ



センター退所時の年齢と中国での学年（最終学歴）

年齢	未	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
5	1									
6	10	1								
7	8	4	2							
8		4	7							
9		1	2	6	1					
10			2	7	9	1				
11				2	5	5				
12					1	6	4(1)			
13							3(1)			
14						1		3(1)	2	
15					1			1	5(2)	
16								1		1

（ ）内の数は5年制小学校を卒業して中学に進んだ子の数である。例えば、中国で5年制小学校を卒業して中学2年生で来日した子は、就学年数から考えて中1として集計し、内数で表したものである。

中国では9月1日時点で満6歳または7歳の子が小1に入学するのが原則だが、それが全国的に徹底しているわけではなく、農村部では就学が遅れる傾

向がある。

日本と比較する場合、日本の4月6歳開始と中国の9月7歳開始では最大1年5ヶ月、最小5ヶ月のずれがあるため、平均して、ほぼ1年遅れと考えてよいと思う。

「年齢別学歴 編入差グラフ」

(矢印は根元が中国の学歴、矢の先が日本の編入学年を表す、黒丸は同学年編入、矢の太さと丸の大きさは人数の多少を表している)